

明治・大正・昭和期の建設工事写真シリーズ

写真: 写真でつづるふるさと大須賀より

東大谷川改修護岸工事(掛川市大淵) 昭和初年



蛇かごを組んだり、土工の手による大変な工事だった。



昭和7年、東大谷川決壊
東大谷川橋上流が切れ、堤防西側に決壊、
雨垂の橋が流失した。



昭和16年、東大谷川の堰
このように近代工法によって、上流の水害
を防ぐ努力をした。

東大谷川

掛川市大淵(旧大須賀町)に位置する延長約5.3kmの二級河川である。小笠山を源に流れを発し、遠州灘に注いでいる。水害を防ぐため、昭和時代に河川の蛇行を是正する河川改修工事等が行われた。



つちおとの表紙を飾る写真

◆テーマ・題材◆静岡県内の明治・大正・昭和期の建設工事関連写真

住所、氏名、電話番号、撮影年月日、撮影場所、写真の簡単な説明を記入したメモを必ず添えて、表紙裏面に記載の住所あてに郵送、あるいは協会までご持参ください。写真はつちおと掲載後に返却いたします。

ご応募いただく際お預かりする個人情報は、掲載させていただいた方への図書カードの送付のために利用させていただきます。

大募集!

掲載の方には
2,000円分の
図書カード
進呈!



工事の特徴

- 外径φ12mシールドトンネルと立坑・掘削部の開削工事
- 小土被りのため、トンネル施工時の浮上りの対策が必要
- 海面下の高水圧、海面変動、塩害を受ける環境下での施工に加え、沖積粘性土主体の軟弱粘性土層の掘削
- 首都高速道路湾岸線(沈埋トンネル)や共同溝・企業洞道等が近接しているため、影響が生じないように配慮する
- 工事で使用するシールドマシン(泥土圧シールド掘進機)



運転室

シールドマシン先端部 裏側

地上発進

- ①大規模な立坑を省略し、地上から直接坑内にアクセスできるよう立坑・掘進躯体を先行して構築
 - ②後続台車を本掘進同様に牽引しながら掘進することが可能
 - ③地上設備も省力化に加え、資材の搬入や土砂の搬出等も効率的に行うことができる
- ※地上発進にすることで、一般的な方法で必要となる手間を減らし、大幅な工期短縮に成功

地上発進工法

一般的な工法



この部分を先につくる事で、シールド掘進に必要な設備を準備しておくことができる。また、掘った土の搬出もダンプで直接運び出すことができる。

地上発進部(立坑・掘進躯体)

■セグメント等の資材搬入時の効率化

1回の運搬でセグメント1リング分(9ピース)の運搬可能な専用運搬車両「MSV」を配備
車幅が小さく、土砂の搬出車両等が輻輳(ふくそう)する場内において、作業空間の確保が可能になる



現場内状況

緊急避難用シェルター

MSV(材料運搬特殊車両)

視察を終えて

今回の視察では、大手建設企業の最先端技術や安全で効率的な施工システムなどを到るところで目にする事ができ、とても興味深くそして新鮮でした。規模の違いこそあるものの、工事を進める上で共通する「どうすれば工程をつめることができるのか」、「投入する機材や工法はどうか」といった基本的なことについても、もっと深く考えなくてはならないということを改めて気づかされました。その中でも特に印象深かったことは、会社や職種は異なっているにもかかわらずそこで働いている人同士のコミュニケーションがとても円滑であると感じたことです。後世に残る品質の高いものを作るという共通の目的と使命感を持った仲間意識が良い人間関係を形成し、このように明るく活気に満ちた雰囲気を出しているのではないかと思います。

コミュニケーションは、事故防止に、品質の高いものづくりに、そして個々の能力が十二分に発揮できる環境づくりに大変重要な要素であることを今更ながらに自覚しました。

帰ってからこうした思いを、早速自社の朝礼で話しました。社員の胸にどれほど届いたかわかりませんが、これからも全社員が同じ目標に向かっていく仲間としての交流を大切に、安全で活力ある職場環境を目指して日々努力していくことを心に誓いました。

特集

着々と進んでいく東京オリンピック・パラリンピックへの準備

一般国道357号東京湾岸道路 東京港トンネル工事現場を視察!!



現場事務所にて工事概要の説明

10月28日に広報委員会(西島正浩広報委員長)は、東京オリンピック・パラリンピックに向けた交通網の整備の一つ、一般国道357号東京湾岸道路東京港トンネルの現場を視察しました。平成28年3月26日に、臨海副都心側(浦安)から大井側(川崎)への東京港トンネルが開通し、今回視察した現場は、その逆方向の大井側(川崎)から臨海副都心側(浦安)に向かう東行き現場です。



完成形イメージ(大井埠頭付近)



東京湾岸道路の概要

東京湾岸道路は、横須賀市から横浜市、川崎、東京、千葉、富津に至る延長約160kmで海岸沿いに主として埋立地を利用した道路です。(一般国道357号部分は延長約80km)

東京港トンネルに期待される整備効果

- ①交通混雑の緩和
国道357号東京港トンネルが整備されると、首都高速湾岸線の交通が専用部と一般部に分散され、交通の円滑化が期待されます。(現場視察へ行くときに、開通した東京港トンネルを通ってきましたが、トンネル入口付近で見えた反対車線の首都高速湾岸線は、混雑していました。)
- ②羽田空港等へのアクセス向上
東京臨海地域は、羽田空港や東京港を中心とする物流施設や工場が集中する地域です。お台場や有明など集客力の高い施設が多く立地しており、東京港トンネルが整備されると、羽田空港等へのアクセスが向上します。(東京港トンネルルートとの利用と、内陸ルートと比較すると移動時間を約5割短縮できます)
- ③国際競争力の強化
東京湾岸道路沿線では、「国際コンテナ戦略港湾プロジェクト」や「臨海副都心」などの様々な大規模施設・地域開発が進行中です。国道357号東京港トンネルが整備されると、東京臨海部の地域開発や空港、港湾等の連携による交通・物流ネットワークが構築され、国際競争力の強化が図られます。

標準横断面図(国道357号自動車専用部・一般部併設区間)



工事概要

工事名: 357号東京港トンネル(その2)工事
発注者: 国土交通省 関東地方整備局 川崎国道事務所
受注者: 大林・鹿島特定建設工事共同企業体
主な工種: 泥土圧シールド工(外径12m) 延長1,315m
立坑部 発進側:開削工法
到達側:ニューマチックケーソン
開削部 (陸上トンネル及びU型擁壁)
大井側 延長235m
臨海副都心側 延長270m



街の おすすめ



釜めし とらや

気さくな店主の人柄と 具沢山の釜めしが大人気!

磐田市の旧国道から少し脇道に入った所にある釜めし「とらや」さんです。創業四十二年のご家族で経営されているようです。店名の「とらや」は、先代が寅年の寅男だったから。ちなみに二代目大将も息子さんも寅年です。

店内は、テーブル席と小上がり座敷大宴会が出来る奥座敷があり、ゆったりとくつろげるようになっています。

この一番人気は、「とら釜めし定食」ですが、鰻・力・豚の角煮・しゃげ・あさり・きのこ・桜エビなどの釜めしを始め、丼ぶり物や様々な定食がありメニューも豊富です。

釜めしが炊き上がるまで三十分程かかりますが、蓋を開けた時の感動は良い香りとともに期待を裏切りません。具が沢山入っており、だしのきいた



釜めし とらや

所在地 磐田市一言276-2
 電話 0120-32-9425
 営業時間 11:30-14:00 17:00-21:00
 ランチ営業、日曜営業
 定休日 毎週水曜日
 駐車場あり
 URL <http://www4.tokai.or.jp/toraya/>



和風定食 ¥1,944
お刺身、天ぷら、ふたもの、季節のフルーツ付き



小上がり座敷



法事用料理



とら釜めし定食 ¥1,080
サラダ、小鉢、みそ汁、漬物付き

釜めしはペロリと完食してしまいます。定食にはお刺身やサラダもついているので満足です。

また、人の集まる席のお料理に役に立ちたいと仕出し料理やお弁当の販売もしているようです。目的や予算に応じて作ってくれるのでとても便利です。

宴会料理もありますので、ぜひ忘新年会にいかがですか？

建設STATION



「袋井市夢の丘墓園」整備工事



【施設説明】

袋井市で初の市営墓地です。県事業による太田川浚渫残土を埋め立てた跡地(墓地部分は切り土)を利用して整備されました。

整備計画数は、和式墓所1,220区画、芝生墓所690区画、壁型墓所395区画の合計2,305区画です。また、墓地を含めたみつかわ夢の丘公園は、平成29年度末に整備終了しオープンする予定です。



工事概要	工事名称	袋井市夢の丘墓園整備工事	施工者	(株)永井組	区画整備工事	整備内容(総整備計画数) 和式墓所 429区画(1,220区画) 芝生墓所 214区画(690区画) 壁型墓所 80区画(395区画) 駐車場 30台(100台) 整備計画 (~平成51年度)
	工事場所	袋井市大谷地内		基盤整備工事		
	発注者	袋井市長 原田 英之	丸明建設(株) 造成工事	塚本建設(株) 幹線園路工事		
	設計	昭和設計(株)	工期 平成26年1月~平成27年10月			

第1期分 残りわずか 墓所使用者募集中!

袋井市夢の丘墓園

詳しくは 袋井市役所 環境政策課まで
TEL 0538-44-3115



磐田市社山 社山城跡



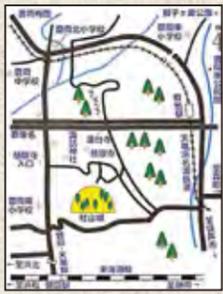
主郭に鎮座する八幡神社



二の曲輪西側土塁

第八回目は、磐田市の「社山城」を紹介します。

中更の城跡を訪ねる



この社山城は標高百三十メートルの山頂にあって、四方は切り立った崖で、西側は真下を天竜川の流れる洗い一名「水巻城」とも呼ばれる天険の要害でした。

その築城については不明ですが、『宗長日記』他の記録によれば、文亀年間(一五〇一〜一五〇三年)に斯波氏と今川氏との抗争の場となり、その戦いで斯波氏が敗れたため今川氏の支配となったと伝えられています。その後、永禄三年(一五六〇年)の桶狭間の戦いで今川義元が戦死し、義元の子氏真が徳川氏と武田氏によって領国を逐われ今川氏が没落したため、三河の徳川氏の支配となりました。しかし、元龜三年(一五七二年)に武田信玄が上洛を企図し遠州地方に侵入したため、今度は徳川氏と武田氏との抗争の場となりました。天正十年(一五八二年)に武田氏が滅亡したため、城としての存在価値がなくなり、天正十八年(一五九〇年)に徳川家康が関東に移封されたことにより、廃城となったようです。

全体の遺構の保存状態はよく、現在も一の郭、二の郭とそれに付随する常曲輪、堀切、土塁等の遺構が残っています。

(案内板より引用)

安全の道しるべ



官民合同パトロール

実施日 9月15日(木)
参加者 9名
 監督署1名・袋井土木1名
 袋井分会安全指導員7名
実施箇所 袋井土木管内2箇所
 袋井・森・磐田地区



実施日 9月28日(水)
参加者 8名
 監督署1名・中遠農林3名
 袋井分会安全指導員4名
実施箇所 中遠農林管内2箇所
 小笠地区



海岸沿いの現場で、作業員や土砂搬入者に現場周辺の「ハザードマップ」が提示されており、安全意識の高さがうかがえる。



安全掲示板に、イラスト入りの工事説明が掲示しており、近隣住民の方々に工事内容の理解を求める努力がされていた。



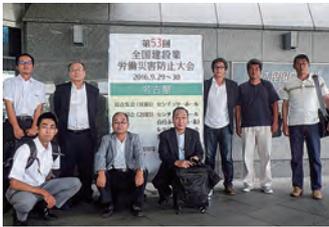
大型ダンプの運搬経路と第三者通行箇所の工事看板が草木に隠れていたため、刈払いし、明確にするよう指示した。



昇降設備(セーフティーロック)の取付け位置が腰よりも低い位置にあり、効果的でないため改善するよう指示した。

建設業労働災害防止大会

全国大会:9月29日(木)~30日(金) 於:名古屋国際会議場



大会スローガン 「予知して 備えて 周知して みんなで築く 安全職場」

全国から4,200名が参加して開催されました。袋井分会では視察研修を兼ねて分会長はじめ安全委員会メンバー9名が参加しました。講演では、漫画「島耕作」の作者である弘兼憲史氏が、「日本を取り巻く環境」について話され、大変参考になる内容でした。中身の濃い全国大会に参加して、参加者一同改めて安全意識の向上を誓いました。

本分会長表彰受賞者

【功績賞】

(株)新組 鈴木一郎



静岡県大会:10月14日(金) 於:静岡労政会館

大会スローガン 「安全で快適な 職場づくりを目指して」

県内より276名参加。袋井分会より16名参加しました。表彰後、労働安全衛生総合研究所中村憲司研究員による「東日本大地震被災地における石綿飛散状況とばく露防止対策」の特別講演がありました。まだ、被災地にはがれきが多く、まだまだ復興には時間がかかりそうです。早期の復興を願います。

**支部長表彰
受賞者**

【事業場賞】 ■(株)永井組
【功 労 賞】 ■(株)アキヤマ 大嶋秋夫
【功 績 賞】 ■乗松建設(株) 宮本洋志 ■(株)マルブンプロテクト 松浦圭吾
【職 長 賞】 ■(株)藤本組 山崎正好

平成28年度安全標語入選

【佳作】 正光建設(株) 竹下敏雄

※今年度より川柳も加わりました。

平成28年度年末年始無災害運動 最優秀標語

※県下各団体から選抜された標語の中より、袋井分会選出の標語が選ばれました。

「まさかより もしもで行う危険予知 無事故でつなぐ 年末年始」

袋井分会 丸明建設(株) 井谷圭佑

**建設業年末年始労働災害防止強調期間
平成28年12月1日~平成29年1月15日**

「無事故の歳末 明るい正月」